



静岡市 いきもの 散策マップ

しずはたやま 賤機山(浅間山~池ヶ谷)コース

しょくぶつ

● シャガ



アヤメの仲間、山地の林のまわりや道ばたに生えています。4~5月に少し紫がかった白色の花を咲かせます。

● テイカカスラ



ツル植物で、はりつきながら大きな木の先までのぼります。6月ごろに白色の花を咲かせます。

● ノビル



畑のまわりに多く生えています。5~6月に、白色または淡い紫色の花を咲かせます。葉や球根は食べられます。

● ホタルブクロ



キキョウの仲間、釣りのような形をした桃色の花を、6~7月に咲かせます。草原や山地に生えています。

● ツリガネニンジン



キキョウの仲間、8~10月に釣りのような形をした、うすい青紫色の花を咲かせます。

● ゴンズイ



秋に紅色の袋に包まれた黒い実をつけます。その実の形から「キツネの茶袋」とも呼ばれます。

● ナヨクサフジ



ヨーロッパ原産の植物です。秋に芽生え、春から初夏にかけて紫色の花を咲かせます。荒地や河原に生えます。

● ノアザミ



5~8月に紫色の花を咲かせます。花にきた虫に花粉を運ばせるため、花に触ると花粉が出ます。葉にトゲがあります。

● ノカンゾウ



ユリの仲間、7~8月の昼間に橙色から赤色の花を咲かせます。陽当たりの良い湿った場所に育ちます。

● アカメガシワ



吹き出たばかりの芽があざやかな赤色で、葉がカシワのように大きいので、この名があります。

● マルバウツギ



初夏に小さな白い花をつける低木です。他のウツギの仲間よりも丸い葉を持つことから、この名がついています。

● ドクダミ



6~7月に白色の花を咲かせます。全体に独特においがあり、葉やお茶に使われます。日かげの湿ったところに生えます。

● クサイチゴ



高さは20~60cmで、林のふちや草地に生える草状の落葉低木です。実は赤く熟すと食べられます。

● クリ



高さ15~20mの落葉高木です。実はおいしく、材は腐りにくいので、線路の枕木や建材として使われます。

● スイカズラ



ツル性の植物で、5~6月に甘い香りのする白色や黄色の花を咲かせます。ニンドウとも呼ばれ、葉にも使われます。

● ノイバラ



バラの仲間の低木で、5~6月に白色または薄紅色の花を咲かせます。野原や河川敷でよく見られます。

アクセス情報



駐車場はありませんので、公共の交通機関を利用してください

【バスでのアクセス】

〈浅間神社行き〉
しずてつバス「静岡駅前」停留所
安東循環線中町回り(10番乗り場)
もしくは、美和大谷線(9番乗り場)
「赤鳥居」バス停下車
(約10分)

〈静岡駅方面行き〉

しずてつバス 中原池ヶ谷線「池ヶ谷」
バス停より「静岡駅前」行きに乗車
(約20分)

緊急連絡先

・静岡県救急医療情報センター TEL&FAX:0800-222-1199
(休日・夜間当番医を教えてください。24時間対応)

・消防 119番

・警察 110番

注意事項

- ・ハイキングでの安全は自己責任でお願いします。季節に合わせた服装・水や食料の準備、緊急時の連絡先の確認など、準備をしっかりしておきましょう。
- ・里山には、ハチやヘビやヒルなどの危険な動物もくらしています。出会ってしまったら、刺激しないよう注意し、ゆっくりその場をはなれてください。
- ・コースの中には私有地が含まれる場合があります。果樹・花・山菜などを無断で取らないでください。
- ・動物も植物も、たくさんあるからといって、むやみにとるのはやめましょう。また、他の土地から動植物を持ち込まないようにしてください。

制作：NPO法人 静岡県自然史博物館ネットワーク
発行者：静岡市清流の都創造課
〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号
TEL:054-221-1357 FAX:054-205-2666
制作年：平成25年3月

どうぶつ・とり

● ヤマガラ



スズメくらいの大きさで、「ツツピーツツピー」と鳴きます。公園などでも見られます。学習能力がとても高いです。

● カケス



ハトくらいの大きさで、山地にすんでいます。「ジエイジエイ」と鳴き、ドングリを好んで食べます。

● ノスリ



カラスより大きなタカの仲間です。山地や人里で1年中見られます。ネズミや小鳥などをつかまえて食べます。

● ヒヨドリ



ハトより小さな鳥で、林や市街地、民家の庭で普通に見ることができます。木の実、果物を好んで食べます。

● メジロ



ウグイスに似ています。背側は全体的に黄緑色で、眼のまわりが白いのが特徴です。人家の庭先でも見られます。

● ホオジロ



スズメより大きな鳥で、オスは木の上で「チョツピチチュ、チュチュチュ」と鳴きます。耕作地などで見られます。

● ムクドリ



スズメより大きな鳥です。「キョルキョル」と騒がしく鳴き、街路樹をめぐらすため、人に嫌われることがあります。

● シロハラ



スズメより大きな鳥です。冬に公園などで落ち葉をかきわけて、昆虫やミミズなどを探して食べます。

● キセキレイ



スズメより大きな大きさで、飛ぶと胸からお腹までが黄色い鳥です。主に水辺にすみ、昆虫をつかまえて食べます。

● カワラヒワ



スズメくらいの大きさで、飛ぶと翼に黄色の模様が見られる小鳥です。雑木林などで見られます。

● キジバト



「デデッポー」と鳴き、くびに青色をおびた灰色の模様があるハトです。山地だけでなく、平地や市街地でも見られます。

● コゲラ



スズメくらいの大きさで「ギーギー」と鳴くキツツキの仲間です。公園など身近な場所でも見られます。

● タヌキ



中型の哺乳類で、足が短く、ずんぐりした体つきです。雑食性で、小動物や果実などを食べます。

● アオダイショウ



全長1~2mになる本州最大のヘビで、全身褐色をおびたオリーブ色です。主に小型の哺乳類、小鳥を食べます。

● シマヘビ **要注意**



体色は黄褐色で、背中に4本のシマがあります。気の荒いヘビなので注意が必要です。主にカエルやトカゲを食べます。

● ニホンカナヘビ



全長20cmくらいの小さなトカゲで、昆虫などを食べます。山地から低地まで広く分布し、庭先でも見られます。

むし

● アケビコノハ(幼虫)



大きなガの仲間です。目玉模様のある幼虫がアケビを食べ、成虫は木の葉に似ているので、この名があります。

● コジャノメ



陽があまり入ってこない、暗い森の中にすんでいます。花の蜜は吸わず、腐った果実や樹液などに集まります。

● ツチイナゴ



体長5~7cmの淡い土色をしたイナゴで、草の茂った野原にすんでいます。秋に成虫になり、そのまま冬を越します。

● ナミアゲハ



3月下旬から10月まで、市街地で最も普通に見られるチョウです。幼虫はミカンの仲間を食べます。

● ヒメアカタテハ



ほぼ世界中に分布することで有名です。広場や堤防でよく見かけ、秋にコスモスの花などの蜜を吸います。

● モンキチョウ



春早くから秋遅くまで、堤防のまわりなどで見られます。幼虫はシロツメクサやレンゲを食べ、成虫は花の蜜を好みます。

● モンシロチョウ



白いはねに黒色の模様がある、シロチョウの仲間です。幼虫はキャベツなどを食べます。成虫は冬を除き、年中見られます。

● オンブバッタ



メスの背に小さなオスがよく乗っています。緑色や褐色のものがあります。原っぱなどで8~12月に見られます。

メモ

しずおか みんなの しぜんたんけんてちょう

しぜんたんけんてちょう

検索



静岡市が運営するウェブサイト「しぜんたんけんてちょう」では、皆さんが発見した動物・植物・昆虫の発見情報を1つの地図に落とし込んでいき、共有しています。ハイキングで見つけた生き物は、写真を撮ってぜひ発見情報を投稿ください!!(ウェブサイト内に投稿ページがありますので、そちらから情報をご提供ください)